

教員一覧

(2017年5月現在)

■所長

小松 和彦

文化人類学、民俗学、口承文芸論

■副所長

稲賀 繁美
劉 建輝

比較文学比較文化、文化交流史
日中文化交流史

■教授

荒木 浩
磯前 順一
伊東 貴之
井上 章一
牛村 圭
大塚 英志
倉本 一宏
瀧井 一博
坪井 秀人
パトリシア・フィスター
ジョン・ブリン
細川 周平
松田 利彦
安井 眞奈美
山田 奨治
マルクス・リュッターマン

日本文学
宗教学、批判的理論
中国思想史、東アジア比較文化交渉史
風俗史
比較文学、比較文化論、文明論
まんが表現史、まんが創作論、近代文学史
日本古代史、古記録学
国制史、比較法史
日本近代文学・文化史
日本美術史
日本の近代史
音楽学、日系ブラジル史
日朝・日韓関係史
日本民俗学、文化人類学
情報学、文化交流史
日本中世社会史・記号論・心性史・言動史

■准教授

磯田 道史
榎本 涉
郭 南燕
楠 綾子
フレデリック・クレインス
佐野 真由子

日本史学
中世国際交流史
日本近代文学、東西文化交流
日本政治外交史、安全保障論
日欧交渉史
外交史・文化交流史、文化政策

■助教

石川 肇
北浦 寛之
呉座 勇一

日本近代文学
映画学
日本中世史

■特任助教

石上 阿希
古川 綾子
前川 志織

近世文化史
日本芸能史
近代日本美術史、近代日本デザイン史

■顧問

梅原 猛



交通案内



阪急桂駅(西口)から

- 京都市バス「西5」「西6」で約30分
- 京阪京都交通バス「20」「20B」で約20分
- タクシーで約15分

JR桂川駅から

- ヤサカバス「1」「6」で約30分
- タクシーで約20分
- JR桂川駅までは、JR京都駅から大阪方面行き(普通)に乗車約5分

JR京都駅(烏丸中央口)から

- 京阪京都交通バス「21」「21A」「26」で約45分

バスはいずれも「桂坂中央」行き、「桂坂小学校前」又は「花の舞公園前」下車で徒歩約5分

〒610-1192 京都市西京区御陵大枝山町3丁目2番地
TEL (075) 335-2222 (代) / FAX (075) 335-2091
<http://www.nichibun.ac.jp/>

表紙: 建築家 内井昭蔵氏による日文研設計時のイメージスケッチ



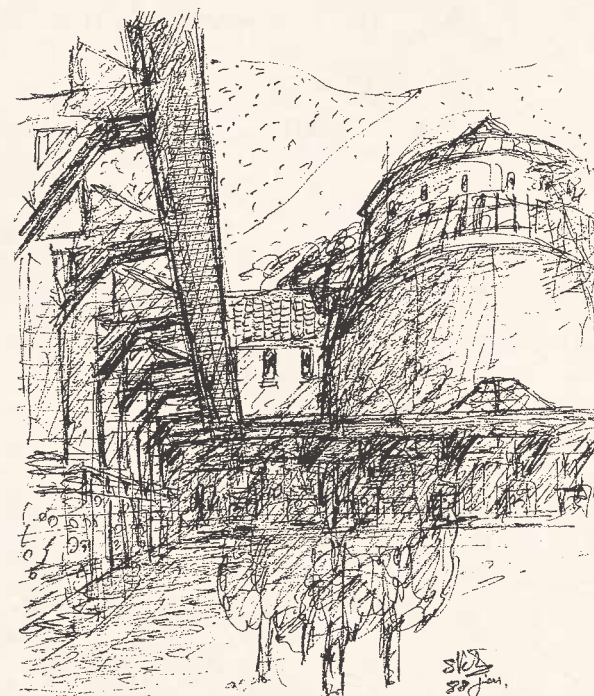
National Institutes for the Humanities
International Research Center for Japanese Studies

大学共同利用機関法人 人間文化研究機構

国際日本文化 研究センター

2017

概要



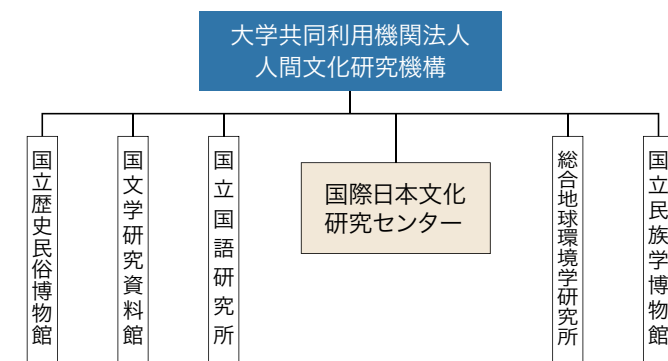
日文研とは

国際日本文化研究センター(以下、日文研)は、日本文化に関する国際的・学際的な総合研究と世界の日本研究者に対する研究協力・支援を行うことを目的として1987年に設置されました。

日文研は、日本の文化・歴史を国際的な連携・協力の下で研究するとともに、外国の日本研究者を支援するという大切な使命をもった大学共同利用機関です。この使命を推し進めるために、国内外から参加する多様な専門領域の共同研究員による、分野横断的な日本文化に関する研究を展開しています。

また、海外から人文・社会科学等の諸分野の研究者を招いて最新の成果や情報に基づく自由で創造的な研究活動を行うとともに、その情報を発信するなど、日文研は、日本研究の国際的拠点としての役割を担っています。

組織



日文研の役割

1. 日文研は、国際的・学際的・総合的な観点から、日本文化に関する研究課題を設け、国内外から参加する様々な分野の研究者による共同研究に取り組んでいます。
2. 共同研究は、「重点共同研究」「国際共同研究」「基幹共同研究」という3領域のもとに、柔軟な組織・運営により推進しています。
3. 世界各地の日本文化の研究者・研究機関に、研究情報を発信するとともに、実情に応じた研究協力を行っています。
4. 研究成果は、和文・英文による図書・学術雑誌、講演会、シンポジウムなど様々な形で広く国際社会に提供しています。
5. 総合研究大学院大学文化科学研究科国際日本研究専攻・博士後期課程では、次代の研究者養成に努めています。また、国内外の大学院生・留学生を受入れて指導しています。

所蔵資料



図書館

日本研究に必要な各種資料を幅広く収集し（図書資料約52万冊）、国内外の研究者の利用に供するとともに、様々な情報を提供しています。利用者は図書を自由に手にとって閲覧することができます。外部の方でも、学術研究・調査等を目的とする場合であれば、事前申請のうえ閲覧が可能です。



浪曲番付
「東西浪花節真打人気競」



Japanese Street Scenes
Calendar for 1907

データベース

日文研は、所蔵する日本研究資料、所員の研究成果をはじめ、他機関所有の日本研究資料などのデータベースを作成しており、現在50種類をウェブで公開しています。



データベースの一例

活動

研究活動

個人研究 基礎研究 共同研究

日文研の中心的な活動は共同研究であり、国際的観点から研究テーマを設定し、国際的・学際的な体制のもとに総合的に研究を行っています。この活動の中で成果を世界に向けて発表する機会として「国際研究集会」があり、この集会は世界各地の日本文化研究者との交流の場としても位置づけられています。

研究協力活動

国際研究協力

海外の日本研究機関との共催等により「海外シンポジウム」などの国際的研究協力活動を実施しています。「日文研フォーラム」や研究会形式の各種セミナーなど、発表と交流の場を提供し、その他さまざまな研究支援を実施しています。

情報の収集・整理・提供

収集する主な情報には次のようなものがあります。

- ・外国語で書かれた日本研究図書
- ・日本研究関連の文献目録及び映像・音響資料
- ・海外における日本研究者・研究機関に関する情報

これらの情報はデータベース化され、多目的な検索システムにより、迅速にアクセスすることができます。

普及活動

研究活動の成果の出版

『日本研究』、*Japan Review*、『日文研叢書』、*Nichibunken Monograph Series*、『国際研究集会報告書』などを出版しています。

広報誌の出版

『日文研』、*Nichibunken Newsletter*などを出版しています。

一般市民への発信

学術講演会、公開講演会、日文研フォーラム、一般公開、日文研・アイハウス連携フォーラムなどを開催しています。

◆詳細は日文研ホームページでも発信しています。

共同研究

2017年度 共同研究一覧

(2017年5月現在)

研究課題	研究代表者
投企する古典性——視覚／大衆／現代	教授 荒木 浩
「運動」としての大衆文化	教授 大塚 英志
音と聴覚の文化史	教授 細川 周平
説話文学と歴史史料の間に	教授 倉本 一宏
3.11以後のディスカール／『日本文化』	外国人研究員 ミツヨ・ワダ・マルシアノ
万国博覧会と人間の歴史	准教授 佐野 真由子
差別から見た日本宗教史再考——社寺と王権に見られる聖と賤の論理	教授 磯前 順一
明治日本の比較文明的考察——その遺産の再考——	教授 瀧井 一博
画像資料（絵葉書・地図・旅行案内・写真等）による帝国国内文化の再検討	教授 劉 建輝
植民地帝国日本における知と権力	教授 松田 利彦
東西文明論——日本を東西の中間地として、懸け橋という特殊な使命を与える言説の分析	外国人研究員 ディック・ステゲウエルン
戦後日本文化再考	教授 坪井 秀人
比較のなかの東アジアの王権論と秩序構想——王朝・帝国・国家、または、思想・宗教・儀礼——	教授 伊東 貴之
多文化間交渉における『あいだ』の研究	教授 稲賀 繁美
戦争と鎮魂	教授 牛村 圭
近代東アジアの風俗史	教授 井上 章一



最近の日文研出版物



第63回学術講演会

2016年度 活動の記録

2017年度の活動についてはお問い合わせ下さい。
*は一般の方の参加が可能なものです。

活動一覧		
2016年4月	日文研フォーラム* 国際研究集会	人形浄瑠璃文楽——伝統演劇の魅力と苦難 海賊史観からみた世界史の再構築
5月	日文研フォーラム*	獅子舞がつなぐ東アジア
6月	日文研フォーラム* 学術講演会*	「古くて新しいもの」——ベトナム人の俳句観から日本文化の浸透を探る 徳川時代から発想する——経済・教育・防災—— 支え合う近代——文化史から見る日中二百年——
7月	日文研フォーラム* 日文研・アイハウス連携フォーラム*	中国近代心理学の先駆け、陳大斉の日本留学とそれから——小秀才から教育者へ 川端康成文学と中国美術
9月	日文研フォーラム* 学術講演会*	変容するヤマト——『古事記』の「天皇」を考える 中世東シナ海の航路を守る神戦争の日本史
10月	日文研フォーラム* 機関拠点型基幹研究プロジェクト 日文研・アイハウス連携フォーラム* 一般公開*	木下恵介映画の見どころ——忘れられた日本のこころ 大衆文化の通時的・国際的研究による新しい日本像の創出 キックオフ・ミーティング 海賊史観からみた世界史500年——「文明の海洋史観」の裏面を覗く みる・きく日文研
11月	日文研フォーラム* 海外シンポジウム	セルビア・アヴァンギャルド詩と『日本の古歌』 南太平洋から見る日本研究：歴史、政治、文学、美術
12月	国際シンポジウム 日文研フォーラム*	鈴木大拙を顧みる：没後50年を記念して 北朝鮮の核問題と中国の新たな朝鮮半島政策
2017年1月	日文研フォーラム* 日文研・アイハウス連携フォーラム*	近世前期の学識と実学を再考する——京都の博学者、馬場信武を中心に 志賀直哉の文学——外国語からの養分
2月	日文研フォーラム*	京都から考える「東アジア安全共同体」——「戦争」「災害」「歴史」をキーワードとして
3月	日文研・アイハウス連携フォーラム（京都開催）* 学術講演会* 小松和彦所長文化功労者顕彰記念講演会*	ヴィジュアル資料が映し出す——帝国日本の文化と社会 上方喜劇の現代性——曾我廼家劇から松竹新喜劇まで日本の大衆文化とキリスト教 妖怪と戯れて四〇年——私の人生